

品質保証

見えないところで社会基盤の持続性を支える当社の「表面改質技術」。その価値を確かなものにし、社会とお客さまの期待を超える製品・サービスを提供し続けるため、当社グループは「顧客重視」を基本姿勢としています。事業や国境を越えたグローバルな品質保証体制を構築し、工程ごとの品質保証力を継続的に高めることで、製品の安定供給と持続的な企業価値の向上に貢献しています。

品質方針とグローバル品質保証体制

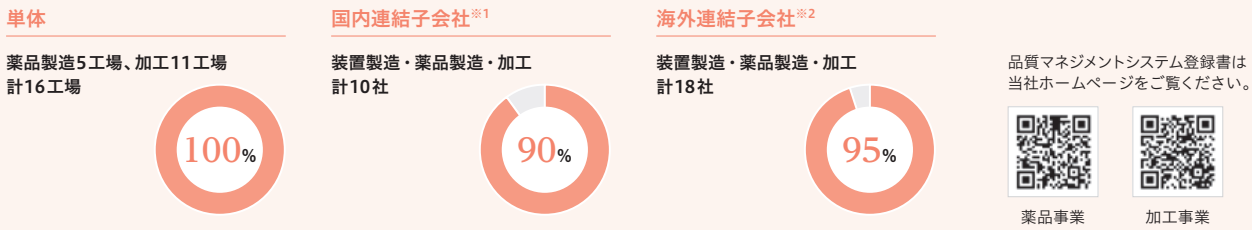
当社グループは、社会とお客さまの期待を超える製品・サービスの提供を目指し、「品質マネジメントシステムの継続的改善」をはじめとする4つの品質方針を掲げています。この方針を実現するため、薬品や加工という異なる特性を持つ両事業において、高い品質水準を均一に保つべく、「品質保証室」が横断的に品質保証活動を統括しています。グループ共通のルール整備から、点検・監査、是正のフォローアップ、そして改善事例の水平展開までを担い、事業や国境を越えた強固な品質ガバナンスを構築しています。



外部認証（ISO等）を基盤とした透明性の確保

ISO9001などの外部認証を基盤として活用し、外部基準への適合と現場での実効性ある運用を両立させることで、品質保証体制の透明性と信頼性を高めています。品質保証室は、これら外部基準の要求事項を各事業の活動に落とし込み、継続的改善を推進しています。

ISO9001認証取得率（2026年3月期）



※1 国内連結子会社（全13社）のうち、上記事業に属さないパーカー技建工業・共同輸送・大関化学の3社を除く10社の取得状況（1社は未取得）

※2 海外連結子会社（主要19社）の取得状況（IATF16949取得も含む、1社未取得）

実効性を支える組織風土と高い品質意識

当社グループでは毎年12月を「コンプライアンス&品質強化月間」と定め、各現場でのディスカッションや作業手順の見直しなど、品質意識を日常の行動に結びつける活動を推進しています。こうした取り組みが結実し、2025年度の「全社品質意識調査」では、81%が「品質改善について提言しやすい環境にある」と回答しました。風通しの良い組織文化が、現場からの自律的な継続的改善を後押ししています。

品質改善の提言のしやすさ （2026年3月期）



品質活動と顧客満足度の つながり（2026年3月期）



品質方針およびグローバル品質保証体制の詳細、「コンプライアンス&品質強化月間」の取り組み、具体的な活動については、当社ホームページをご確認ください。

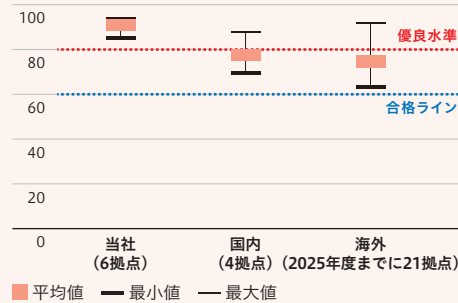


薬品事業：標準化と「工程監査（点検）」による品質の安定化

薬品製造では、製造工程が「標準どおりに維持・運用されている状態」を確保することが品質保証の基本です。当社は、独自のチェックシートを用いた品質保証室による客観的かつ厳格な「工程監査（点検）」を通じて、工程の遵守状況を定量的に評価しています。監査によって抽出された課題の早期是正と、標準書の改訂などによる改善事例の水平展開（4ステップの継続的改善サイクル）を徹底することで、品質の安定化を図っています。この活動の継続により、当社6拠点はすべて80点以上の「優良水準」を達成しており、国内外のグループ全体へも運用の平準化が着実に進んでいます。

2025年度対象範囲

優良認定水準評価結果



Step1 標準書の共有と適用

- ・製造工程で遵守すべき基準の明確化
- ・最新の手順書、ルールの展開

Step2 工程点検の実施

- ・[頻度] 国内：年1回、海外：原則3年に1回
- ・[評価] 独自チェックシートによる評価
- ・[認定] 60点以上：認定工場、80点以上：良認定工場

Step4 水平展開と標準書の改訂

- ・改善事例のデータベース化とグループ展開
- ・監査結果を踏まえた定期的な標準書の改訂、アップデート

Step3 是正とフォローアップ（定着化）

- ・[是正] 報告書受領後、2ヶ月を目途に改善計画を提出・実行
- ・[確認] 約6ヶ月後に進捗を確認し、現場への定着を評価

加工事業：「特殊工程」のリスクを低減する連動型監査と風土醸成

当社グループの加工事業には、特殊工程※に該当する工程が多くあります。そのため、工程設計段階において品質リスクを十分に評価するとともに、工程条件を適切に設定し、厳格に管理することが安定した品質の確保に不可欠です。

また、生産工程においては、各種処理条件の確認・記録を徹底し、品質の安定化に努めています。専門的な品質管理の肝となる技術標準書などのルール整備を進めるとともに、当社は2025年度より監査チェックシートを刷新し、各拠点自ら

が潜在的なリスクを早期発見する「自主点検」と、その結果をもとに品質保証室が専門的な監査を実施する「NP-QA監査」が連動するエコシステムを構築し、不適合の発生リスクを大幅に低減しています。さらに、「品質不適切行為防止ハンドブック」を活用した現場教育を通じて、一人ひとりの自己検出機能を高め、強固な品質風土を醸成しています。

※ 特殊工程：完成後の検査だけでは品質を十分に確認できないため、製造条件を厳格に管理しながら品質をつくり込む工程。熱処理や表面処理などが代表例です。

